

『出てくるかな?』 3歳児 9月 伏見こども園

エピソード

円筒のプールスティックを縦に切ったものを横に繋げて道をつくっていたAくん。道にジョウロで水をかけると、水が飛び跳ねながらプールスティックのくぼみをゆっくり進んで行きます。その様子を見ていたBくんもジョウロで水をかけると道の端まで水が進んで行き、「こっちまで行った」と、近くにいたAくんと保育者に伝えたので、保育者「進んだね」と声を掛けました。ジョウロで水を数回かけた後、Bくんは円筒のプールスティックを道の続きに繋げました。今度はくぼみに水が入るようにペットボトルでそっと流すと水は進んで行きますが、円筒のプールスティックの手前で机の上に流れました。Bくんは縦に切ったプールスティックと円筒のプールスティックの繋ぎ目を両手でぴったりつけ、Bくんの「3・2・1・ゴー!」の合図とともにAくんがジョウロで再び水を流しました。Bくんは円筒のプールスティックの穴の中を覗いたり、端を指で触ったりしながら水が出てくるか見ていました。ほんのわずかな水が円筒のプールスティックの中を流れて端から出て来ましたが、思うように水が出てこなかったからかBくんは少し不思議そうな表情を見せました。Bくんはもう一度ペットボトルで水を流して出て来るわずかな水を見たり、さらにプールスティックを数個繋げて道にしたりして遊び続けました。

子どもの育ちや学び

ゆっくり進んで行く (興味)



こっちまで行った (面白さ)

- ・いろいろな形のプールスティックで道をつくることを考える。
 - ・道にジョウロで水をかけると、水が飛び跳ねながらくぼみをゆっくり進んでくことを知り、言葉で伝える。
- (水の動き)

ペットボトルで水を流そう (意欲)



- ・ジョウロよりもペットボトルの方がくぼみに水が入りやすいと感じ、やってみる。
- ・繋ぎ目で水の動きが途切れないように両手でぴったりつける。

水、出てくるかな (心待ち)



ちょっとしか出てこない (不思議さ)

- ・円筒のプールスティックの穴の中を覗いたり、端を指で触ったりすることで水が通る道があるか知ったり、水の動きを見たりする。
- (水の動きをイメージする・目で追う)

保育者の思い

- ・1学期、水にものが浮いたり、水が流れたりすることを見て遊ぶ姿がありました。2学期も水に触れて遊んでほしいという思いから、水に浮くプールスティックを用意しました。いろいろな形のプールスティック(円筒・円筒を縦切りにしたもの・輪切りにしたもの)を用意することで工夫しながら遊べるといいなと思いました。
- ・「こっちまで行った」と、水がゆっくりと進む様子を伝えたBくん。保育者もその水の様子を見ていたので、「進んだね」と声を掛けて見たことを共有しました。
- ・Bくんの「3・2・1・ゴー!」の合図から「水が進んで行ってほしい」、円筒のプールスティックの穴の中を覗いたり、端を指で触ったりしていた姿から「水が出てくるといいな」と、心待ちにしていると感じました。保育者も「出てくるかな?」と、ワクワクした気持ちで様子を見守りました。

家庭だったら・・・

遊びの中で実際にものに触れることで見つかる楽しさや面白さ、不思議さがあります。その発見を大切に受けとめてあげてください。